

整形外科学各論

【Musculoskeletal System: Specific】

担当責任者 教授（整形外科学） 酒井 昭典

ねらい

1. ヒトと整形外科とのかかわりを理解する。
2. 整形外科に関する基礎知識を修得する。
3. 整形外科の診断・治療に対する考え方を修得する。
4. 整形外科の保存療法と手術療法の考え方を修得する。

学修目標

1. ヒトの運動器の進化、発達、解剖、生理と病理について記述することができる。(Ⅱ-1,Ⅱ-2,Ⅱ-3,Ⅱ-5)
2. 運動器の問・視・触診の診断手技、補助診断手技の基本的事項を述べることができる。(Ⅱ-6)
3. 運動器の治療手技、外傷処置、感染対策の基本的事項を列挙することができる。(Ⅱ-6,Ⅱ-7,Ⅱ-10)
4. 運動器の日常的疾患について診断と治療の原則を述べることができる。(Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、教科書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 毎回の講義において理解度チェックのための小テストを行う。
2. 課題を与え、レポートを提出させる。
3. 小テスト(約8割)とレポート(約2割)の結果を基に、受講態度や出席状況等を加味し、総合的に判断する。
4. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教科書

井樋 栄二 他 監修 「標準整形外科学 第15版」 2023年（医学書院）

○ 参考書

大鳥 精司 他 編 「TEXT整形外科学 改訂5版」 2019年（南山堂）

酒井 昭典 他 編 「骨折の治療指針とリハビリテーション」 2017年（南江堂）

P.Tornetta,Ⅲ. 他 編 「Rockwood & Green's Fractures 第9版」 2020 年（Wolters Kluwer）

Frederick M Azar 他 編 「Campbell's Operative Orthopaedics 第14版」 2020年（Elsevier）

4 年 次

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.2	水	5・6	整形外科総論、検査・診断・治療(レポート提出)	PS	2	5	1～5	酒井 昭典
4.9	水	5・6	スポーツ整形外科(小テスト)	PS	2	5	1～5	鈴木 仁士
4.16	水	5・6	関節リウマチとその外科的治療(小テスト)	PS	2	5	1～5	川崎 展
4.23	水	5・6	整形外科の基礎科学(骨・軟骨・筋・神経)(レポート提出)	PS	2	5	1	酒井 昭典
4.30	水	5・6	高齢者の運動器疾患(小テスト)	PS	2	5	1～5	塚本 学
5.7	水	5・6	脊椎疾患の診断と治療(小テスト)	PS	2	5	1～5	中村 英一郎
5.14	水	5・6	骨軟部腫瘍(小テスト)	PS	2	5	1～5	鈴木 仁士
5.21	水	5・6	整形外科外傷(小テスト)	PS	2	5	1～5	善家 雄吉
5.28	水	5・6	上肢の疾患(小テスト)	PS	2	5	1～5	山中 芳亮
6.4	水	5・6	下肢の疾患、先天異常(小テスト)	PS	2	5	1～5	鈴木 仁士
6.11	水	5・6	骨関節感染炎症性疾患(小テスト)	PS	2	5	1～5	真野 洋佑
6.18	水	5・6	脊椎の外傷(小テスト)	PS	2	5	1～5	佐保 明
6.25	水	5・6	スポーツ傷害と整形外科(小テスト)	PS	2	5	1～5	内田 宗志
7.2	水	5・6	加齢に伴う腰椎疾患(小テスト)	PS	2	5	1～5	山田 晋司